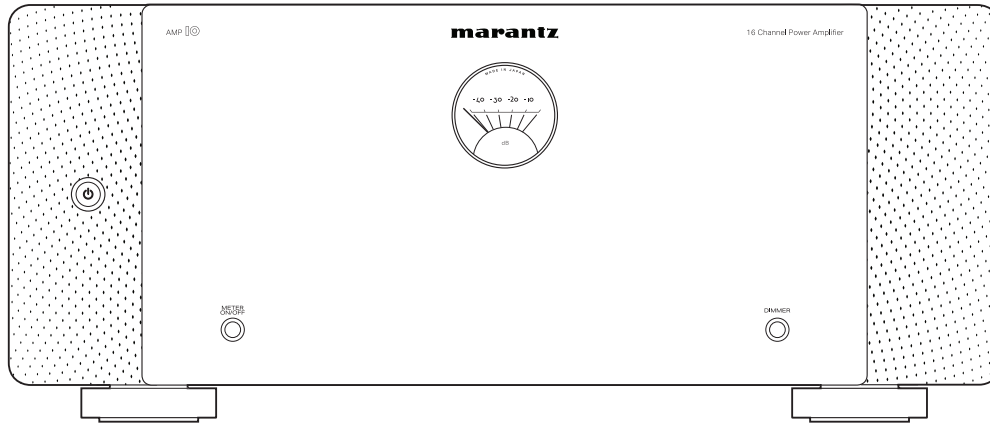


marantz®



AMP | Power Amplifier

取扱説明書

付属品	4
特長	5
高音質	5
多彩な機能	5
各部の名前	6
フロントパネル	6
リアパネル	8

接続のしかた

接続の前に	12
スピーカー	12
プリアンプ	14
接続のバリエーション例	15
プリアンプを接続する	16
マランツ製プリアンプ AV 10 との接続例	16
バイアンプ接続	18
BTL 接続	19
外部のコントロール機器を接続する	20
アンプコントロール端子	20
リモートコントロール端子	21
フラッシャーイン端子 (FLASHER IN)	22
DC コントロール端子	23
オートスタンバイ機能を設定する	25
電源コードを接続する	26



再生のしかた

基本操作	28
電源を入れる	28
電源を入れる	28
レベルメーターの表示をオン/オフする	29
イルミネーションの明るさを切り替える	30

困ったときは

故障かな？と思ったら	31
電源が入らない / 電源が切れる	32
音がまったく出ない	33
保証と修理について	34

付録

用語の解説	36
使用上のご注意	37

仕様

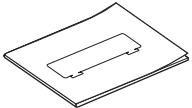
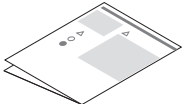
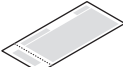
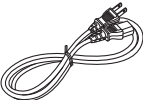
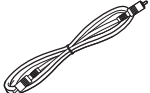


仕様	38
索引	40



お買い上げいただきありがとうございます。
 本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
 お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

ご使用になる前にご確認ください。

 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>保証書</p>	 <p>電源コード 【本機専用】</p>	 <p>リモートコントロール 接続ケーブル</p>
 <p>アンプコントロール 接続ケーブル</p>	 <p>スピーカー端子用レンチ</p>			

特長

高音質

- **16チャンネルスイッチングパワーアンプモジュール搭載**
パワーアンプには、チャンネルあたり 200W(8Ω、1kHz、T.H.D.:0.05%、2チャンネル駆動)のスイッチングパワーアンプを搭載し大出力を実現しています。低域から高域まで歪みが少なく、スピーカーのインピーダンスによる周波数特性の変化が少ない、優れた性能を備えています。また、HDAMを使用したハイスピードなプリアンプ回路との組み合わせにより、DSDやハイレゾ音源の持つきめ細かな情報を忠実に再生します。
- **電流帰還アンプ搭載**
本機には高速の電流帰還方式の増幅回路を採用し、ブルーレイディスクプレーヤーなどのHDオーディオ対応機器からの信号を忠実に増幅します。また、高速の電流帰還アンプは自然な音場空間を再現します。
- **高音質パーツの採用**
高音質メルフ抵抗や電解コンデンサをはじめとして、回路の随所に高音質部品を採用しています。
- **ダブル・レイヤード・シャーシ**
- **高級真鍮削り出しスピーカー端子**

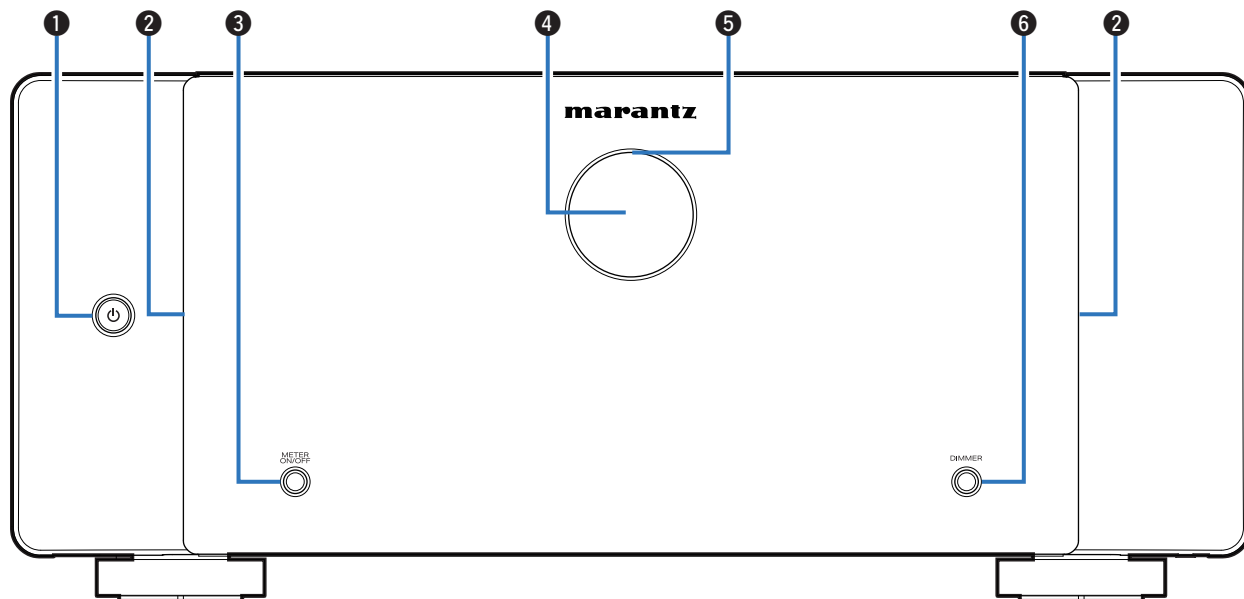
多彩な機能

- **UNBALANCED RCA/BALANCED XLR 切り替え機能**
UNBALANCED RCA 入力と BALANCED XLR 入力を 2チャンネルごとに選択することができます。
- **バイアンプ/BTL 接続設定機能**
プリアンプから追加のケーブルを接続することなく、2チャンネルごとにパワーアンプをバイアンプ接続や BTL 接続に設定することができます。
バイアンプ接続はウーハーとツイーターを別のパワーアンプで駆動することにより、逆起電力による干渉をさけることができます。BTL(ブリッジ)接続はスピーカーのプラス、マイナス両端子をパワーアンプの出力段により直接駆動するため、高いドライブ能力を発揮することができます。また、スピーカーのドライブ電流がグラウンド回路に直接流れ込まないため、増幅の基準となるグラウンド電位が安定し、ノイズや回路間の干渉が低減され正確な増幅がおこなえます。
- **アンプコントロール機能**
AMP CONTROL 端子を搭載した、マランツ製プリアンプ AV 10 と付属のケーブルで接続することで、電源やイルミネーションの表示などを連動して使用することができます。AV 10 との接続はアースループを作らないグランド・フローティング接続とし、音質への悪影響を極力抑えています。
- **その他の機能**
カスタムインストールに対応する IR フラッシュャー入力や DC トリガー入出力端子を装備しています。

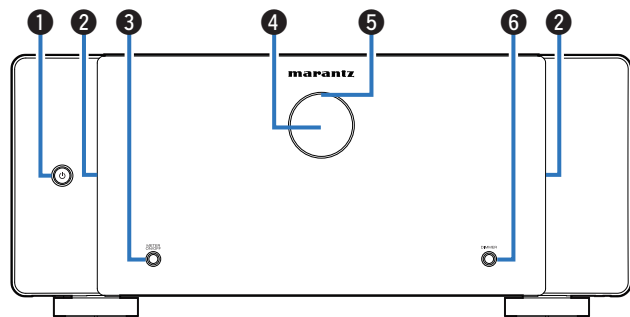


各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① 電源ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.28 ページ)

② イルミネーション

電源をオンにすると点灯します。DIMMER を押すと、イルミネーションの明るさが切り替わります。

③ METER ON/OFF ボタン

レベルメーター表示とメーターのイルミネーションをオンまたはオフにします。(P.29 ページ)

④ レベルメーター

チャンネル 1 に入力された信号レベルを表示します。METER ON/OFF を押すとオフにすることができます。

⑤ 保護回路動作表示

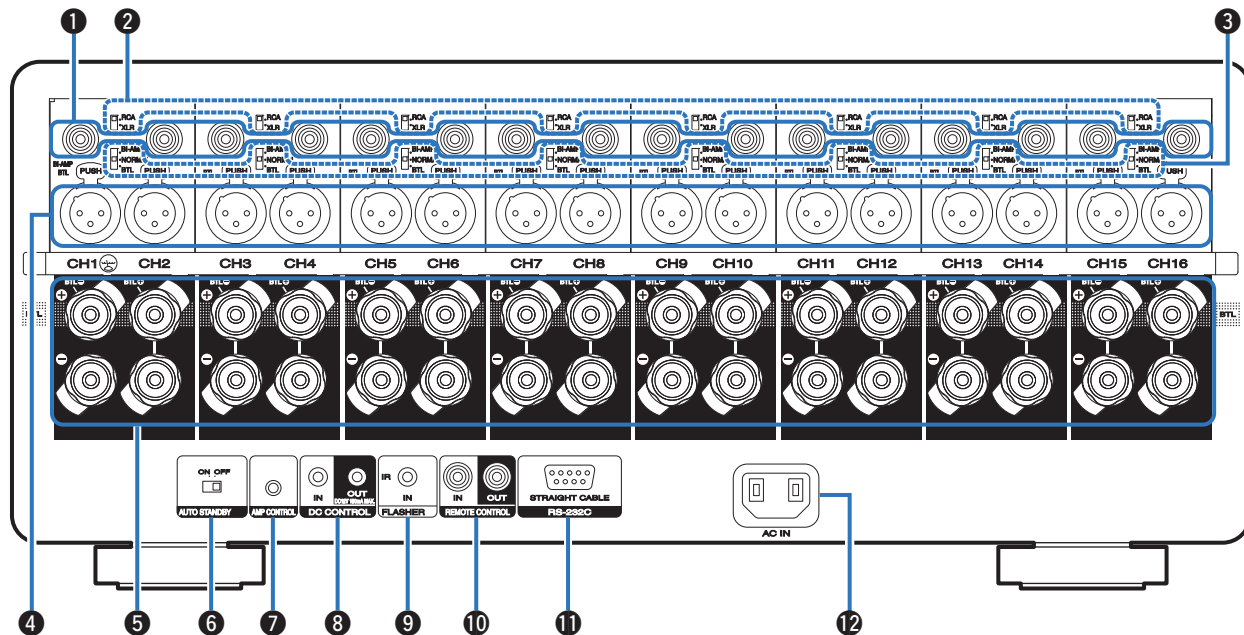
保護回路がはたらいているときに点滅します。(P.32 ページ)

⑥ 明るさ調節ボタン(DIMMER)

ボタンを押すと、イルミネーションの明るさが切り替わります。(P.30 ページ)

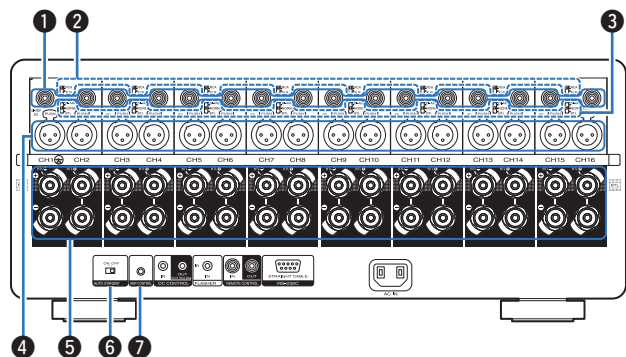


リアパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。





① アンバランス RCA 入力端子

アンバランス RCA 出力端子付きのプリアンプを接続します。

② 入力切り替えスイッチ

プリアンプと接続した端子(UNBALANCED RCA または BALANCED XLR)に合わせて切り替えます。

③ NORMAL/BI-AMP/BTL 切り替えスイッチ

2チャンネルごとにパワーアンプをバイアンプ接続や BTL 接続に設定することができます。

④ バランス XLR 入力端子

バランス XLR 出力端子付きの機器を接続します。

⑤ スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。(参照 16 ページ)

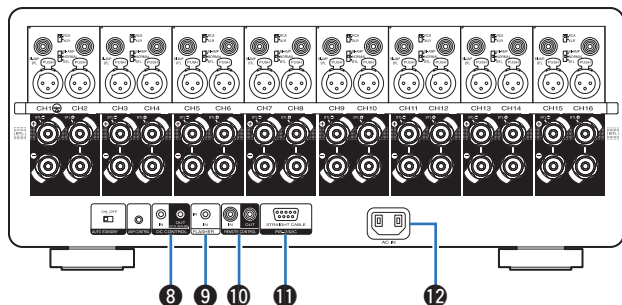
⑥ オートスタンバイ切り替えスイッチ

オートスタンバイ機能を“ON”に設定すると、入力信号が無く無操作の状態が 15 分以上続いた場合に本機の電源が自動的にスタンバイになります。(参照 25 ページ)

⑦ アンプコントロール端子

AMP CONTROL 端子を搭載したマランツの製品と接続します。プリアンプの電源オン/スタンバイやイルミネーションの明るさを本機と連動させることができます。(参照 20 ページ)





⑧ DC コントロール端子

トリガー機能対応の機器を接続します。(P.23 ページ)

⑨ FLASHER IN 端子

IR リピーター(別売り)を接続するときに使用します。(P.22 ページ)

⑩ リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)

リモートコントロール端子を搭載したマランツ製品と接続します。本機をリモコンでシステムコントロールしたいときに使用します。(P.21 ページ)

⑪ RS-232C 端子

RS-232C シリアル端子付きのホームオートメーションコントローラー機器を接続します。本機のシリアルコントロールについての詳細は、ホームオートメーションコントローラー機器の取扱説明書をご覧ください。

あらかじめ次の確認をしてください。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② 外部のコントロール機器で、本機の電源を切る。
- ③ 本機がスタンバイ状態になる。

⑫ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(P.26 ページ)

ご注意

- 端子内部のピンには絶対に触れないでください。静電気により、故障の原因になることがあります。



■ 目次

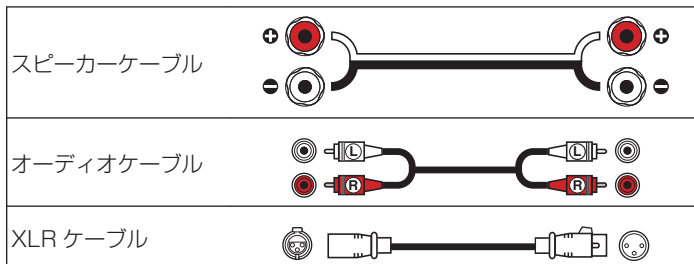
接続の前に	12
接続のバリエーション例	15
プリアンプを接続する	16
外部のコントロール機器を接続する	20
オートスタンバイ機能を設定する	25
電源コードを接続する	26

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。



接続の前に

スピーカー

ここでは例として、代表的な接続方法を説明します。

ご注意

- パワーアンプを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。(「保護回路」(P.36 ページ))
- 通電中は本機のスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーはインピーダンスが 4~16Ω のものを使用してください。

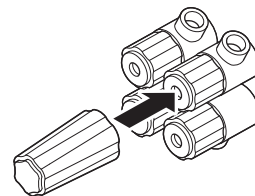
■ スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+ (赤)、- (黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

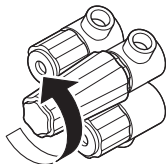
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 15 mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



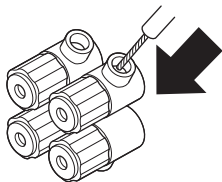
- 2 付属のスピーカー端子用レンチでスピーカー端子に取り付ける。



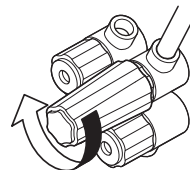
3 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



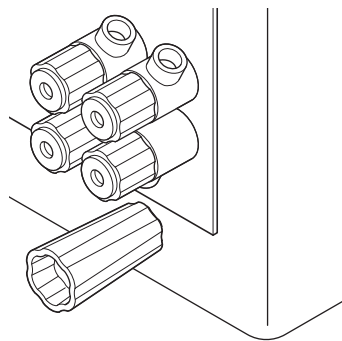
4 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。



5 スピーカー端子を右に回して締める。



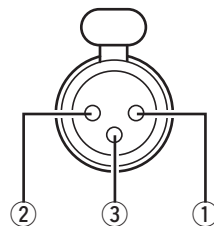
- スピーカー端子用レンチは磁石を内蔵しており、リアパネルに取り付けることができます。スピーカーを接続した後は、付属の保管箱または別の安全な場所に保管してください。



プリアンプ

- 本機の入力端子とプリアンプの出力端子を接続してください(別売り)。
- 本機にはアンバランス RCA プリアウト端子とバランス XLR プリアウト端子を搭載しています。ご使用になるプリアンプに合わせて接続し、本機の RCA/XLR 切り替えスイッチを切り替えてください。プリアンプに両方の端子がある場合は、どちらか一方の端子に接続してください。

【XLR 入力端子の PIN 配置について】



- ① GND(グラウンド)
- ② HOT(ホット)
- ③ COLD(コールド)

本機の PIN 配置は、ヨーロッパ方式を採用しています。
USA 方式では ② が COLD、③ が HOT です。

本機に USA 方式の PIN 配置の機器を接続するときは、バランスケーブルの片方のプラグの ② と ③ の配線を入れ替えてください。

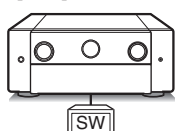
ご注意

- HOT(ホット)または COLD(コールド)と GND(グラウンド)を短絡させて使用しないでください。
- プリアンプを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続している機器の電源も切ってください。

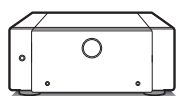


接続のバリエーション例

【例 1】AV10



本機

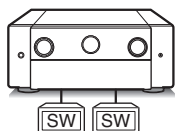


FL C FR SL SR SBL SBR

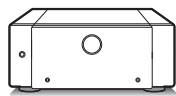


7.1 チャンネル接続

【例 2】AV10



本機

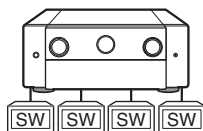


FL C FR SL SR SBL SBR
FWL FWR FHL FHR RHL RHR TML TMR

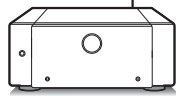


15.2 チャンネル接続

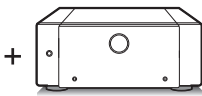
【例 3】AV10



本機



本機



FL C FR SL SR SBL SBR
FWL FWR FHL FHR RHL RHR TML TMR
CH TS
Z2L Z2R Z3L Z3R



17.4 チャンネル接続

+
ゾーン 2 接続
または
ゾーン 3 接続

FL フロントスピーカー(左)	FR フロントスピーカー(右)	C センタースピーカー	SL サラウンドスピーカー(左)	SR サラウンドスピーカー(右)
SW サブウーハー	SBL サラウンドバックスピーカー(左)	SBR サラウンドバックスピーカー(右)	FWL フロントワイドスピーカー(左)	FWR フロントワイドスピーカー(右)
FHL フロントハイトスピーカー(左)	FHR フロントハイトスピーカー(右)	RHL リアハイトスピーカー(左)	RHR リアハイトスピーカー(右)	TML トップミドルスピーカー(左)
TMR トップミドルスピーカー(右)	CH センターハイトスピーカー	TS トップサラウンドスピーカー	Z2L ゾーン2スピーカー(左)	Z2R ゾーン2スピーカー(右)
Z3L ゾーン3スピーカー(左)	Z3R ゾーン3スピーカー(右)			

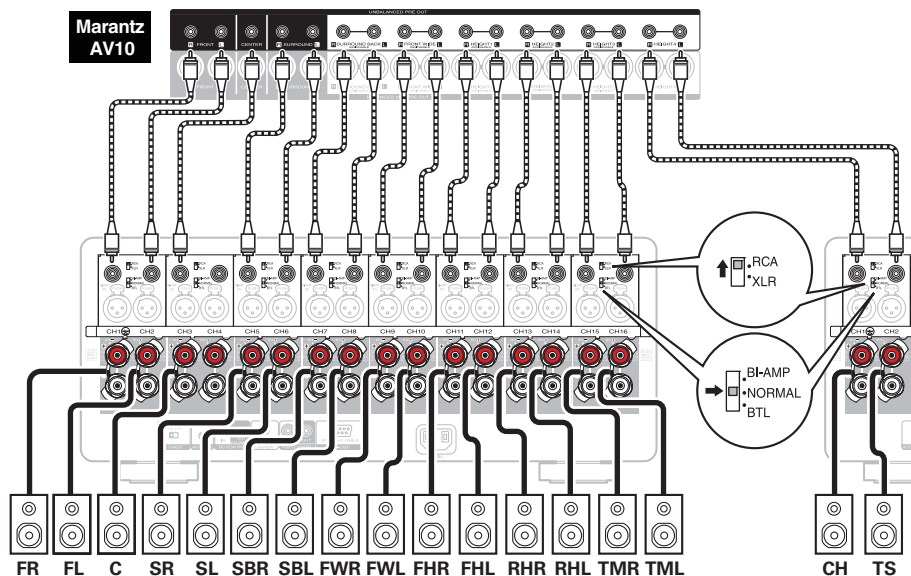


プリアンプを接続する

マランツ製プリアンプ AV 10 との接続例

■ アンバランス RCA プリアウト端子の接続

アンバランス RCA 端子を使用して接続する場合は、本機の入力切り替えスイッチを“RCA”に切り替えてください。入力切り替えスイッチは“NORMAL”に設定してください。



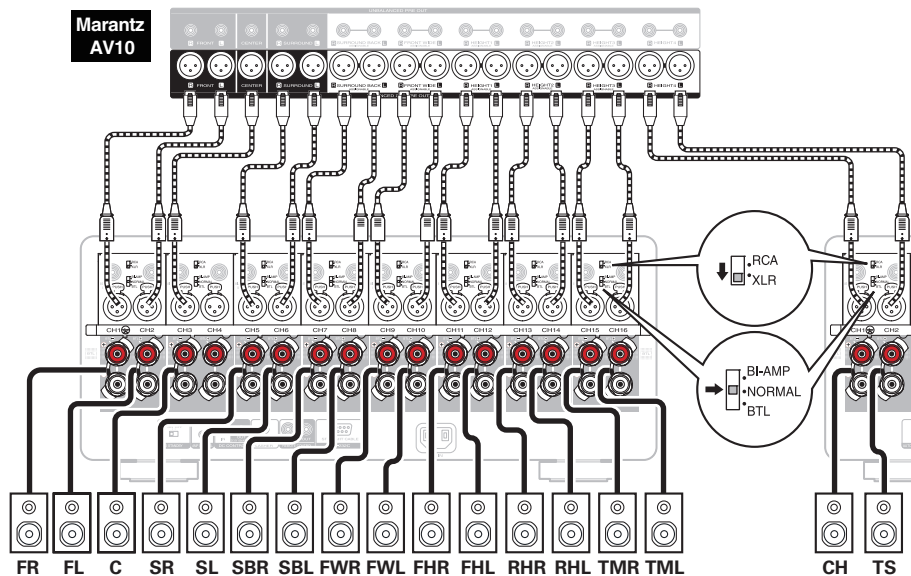
ご注意

- 入力切り替えスイッチおよび NORMAL/BI-AMP/BTL 切り替えスイッチの設定は、必ず電源を入れる前におこなってください。電源を入れた後に設定を切り替えても、設定は反映されません。



■ バランス XLR プリアウト端子の接続

バランス XLR 端子を使用して接続する場合は、本機の入力切り替えスイッチを“XLR”に切り替えてください。入力切り替えスイッチは“NORMAL”に設定してください。



ご注意

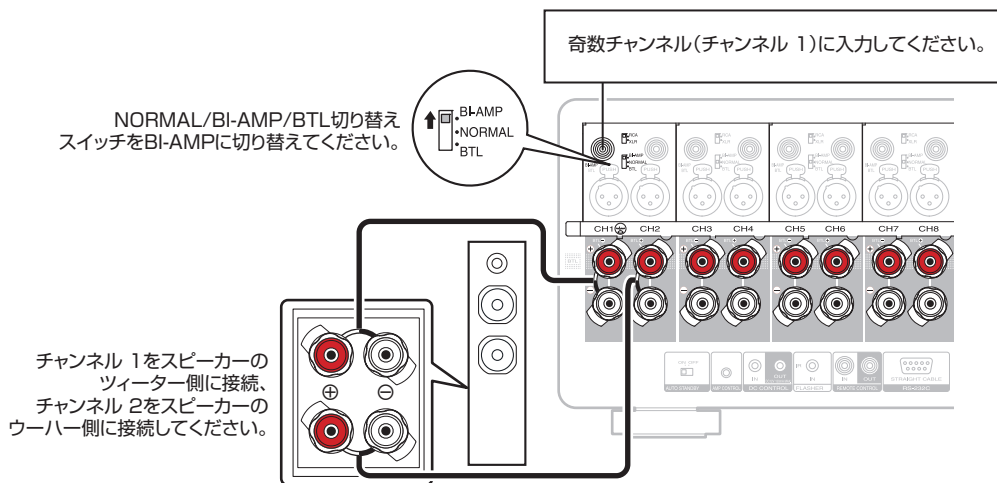
- 入力切り替えスイッチおよび NORMAL/BI-AMP/BTL 切り替えスイッチの設定は、必ず電源を入れる前におこなってください。電源を入れた後に設定を切り替えても、設定は反映されません。



バイアンプ接続

バイアンプ接続は、バイアンプ対応スピーカーのツイーター用端子とウーハー用端子に、別々のアンプを接続する方法です。これによりウーハーの逆起電力(出力されずに戻ってくる電力)がツイーターに流れ込んでツイーターの音質に影響を及ぼすことがないため、より高音質な再生をお楽しみいただけます。

例:チャンネル 1,2 をバイアンプとして使用する



ご注意

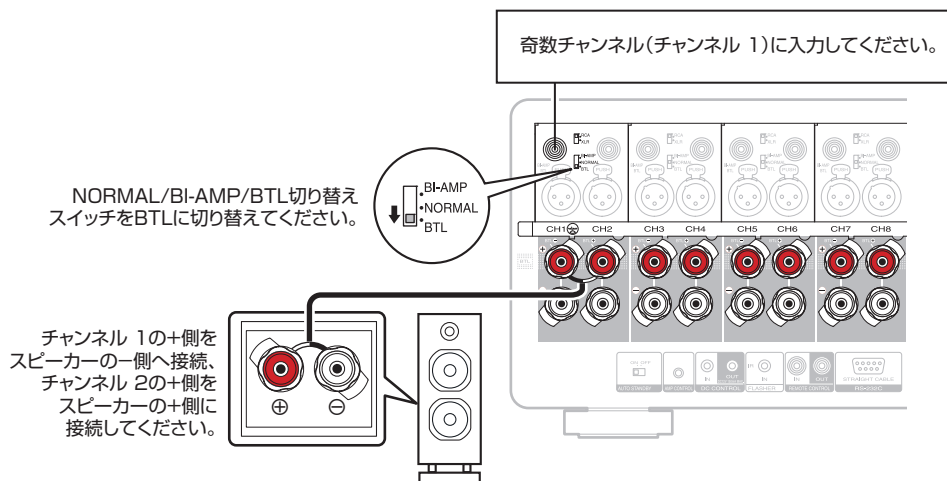
- バイアンプ接続をおこなう場合は、スピーカーのウーハー端子とツイーター端子を接続している短絡板または短絡用ワイヤーを必ず外してください。
- NORMAL/BI-AMP/BTL 切り替えスイッチの設定は、必ず電源を入れる前におこなってください。電源を入れた後に設定を切り替えても、設定は反映されません。



BTL 接続

BTL 接続は、2つのチャンネルを使用してひとつのスピーカーを駆動させる方法です。1つの入力信号から生成した互いに逆位相の信号を、2つのパワーアンプを使って出力することにより、ハイパワーな再生を実現します。

例:チャンネル 1,2 を BTL 接続として使用する



ご注意

- NORMAL/BI-AMP/BTL 切り替えスイッチの設定は、必ず電源を入れる前におこなってください。電源を入れた後に設定を切り替えても、設定は反映されません。



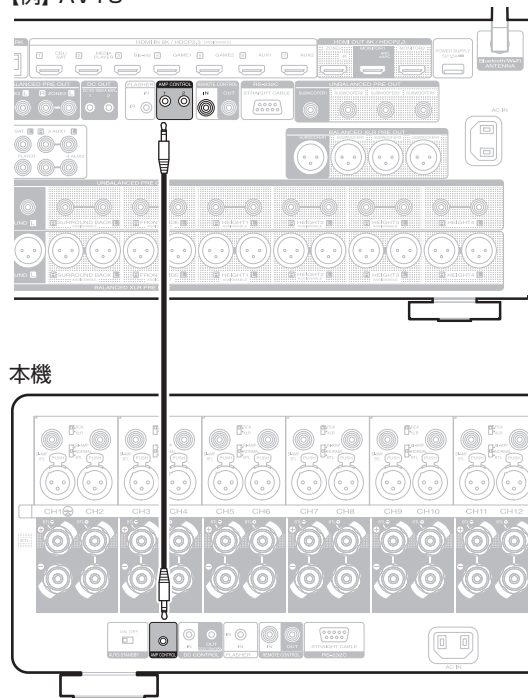
外部のコントロール機器を接続する

アンプコントロール端子

AMP CONTROL 端子を搭載したマランツ製プリアンプ AV 10 を付属のアンプコントロールケーブルで接続すると、プリアンプと連動して以下の動作をします。

- プリアンプのオン/スタンバイ操作に連動して、本機の電源がオン/スタンバイします。
- プリアンプのディスプレイ輝度設定に連動して、本機のイルミネーションが動作します。

【例】 AV10

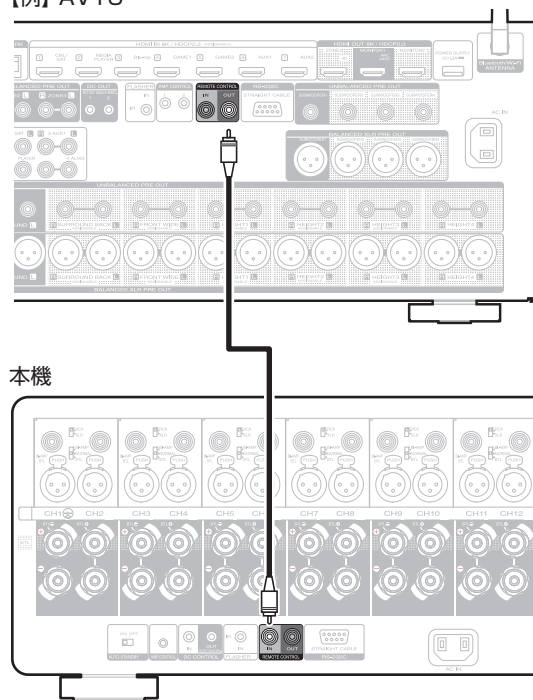


リモートコントロール端子

リモートコントロール端子を搭載したマランツ製プリアンプを付属のリモートコントロールケーブルで接続すると、プリアンプのオン/スタンバイ操作に連動して、本機の電源がオン/スタンバイします。

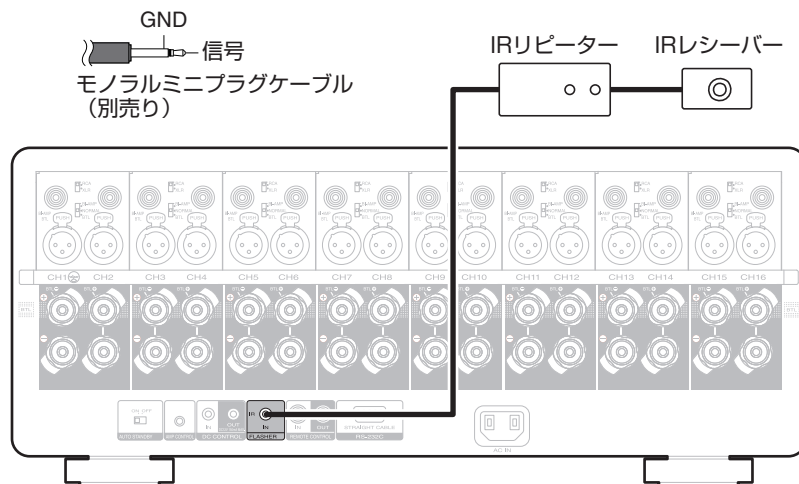
詳しくは、AV 10 の取扱説明書をご覧ください。

【例】 AV10



フラッシャーイン端子(FLASHER IN)

市販(別売り)の IR リピーターを本機の FLASHER IN 端子に接続すると、キャビネットなどリモコン信号が届かない場所に本機を設置した場合でもリモコンで操作することができます。

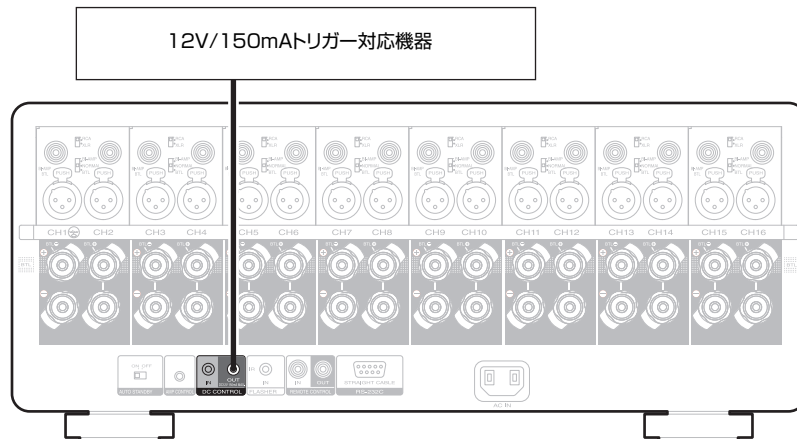


DC コントロール端子

■ DC コントロール出力端子

DC CONTROL IN 端子を搭載した機器を本機に接続すると、その機器の電源を本機の操作に連動してオン/スタンバイすることができます。

本機の DC CONTROL OUT 端子からは、最大 12V/150mA の電気信号を出力します。



ご注意

- DC OUT 端子の接続には、モノラルのミニプラグケーブルを使用してください。ステレオミニプラグケーブルは使用しないでください。
- 接続する機器のトリガー許容入力レベルが 12V/150mA よりも大きいときや短絡状態のときは、DC OUT 端子を使用できません。このような場合は、本機の電源を切ってから DC OUT 端子の接続を外してください。

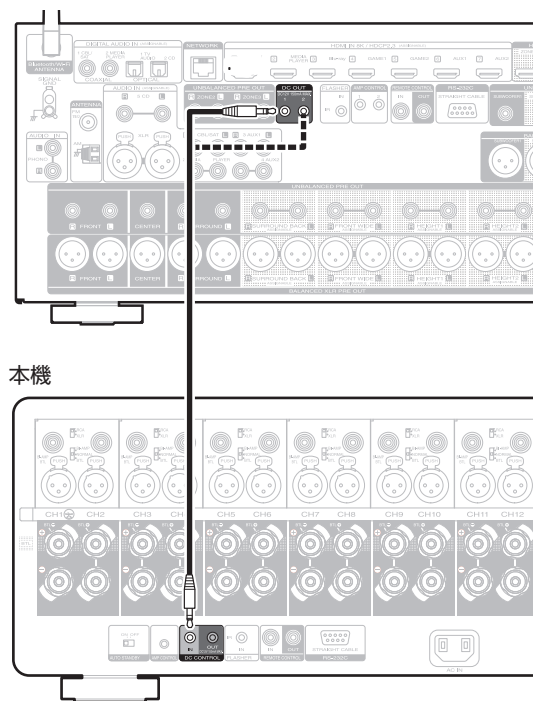
■ DC コントロール入力端子

本機に DC コントロール出力端子がある機器を接続し、接続した機器の電源オン/スタンバイに連動させて本機の電源をオン/スタンバイすることができます。
詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

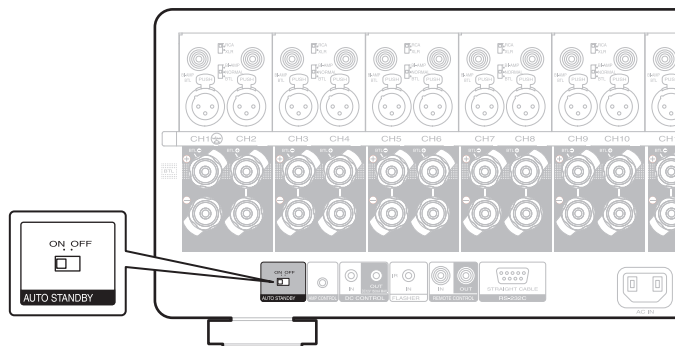
ご注意

- DC コントロール入力端子に 5V～15V の電圧が入力されると、本機の電源がオンになります。
この範囲を超えた電圧を入力すると、故障の原因になります。

【例】 AV10



オートスタンバイ機能を設定する



オートスタンバイ機能を“ON”に設定すると、入力信号が無く無操作の状態が15分以上続いた場合に本機の電源が自動的にスタンバイになります。

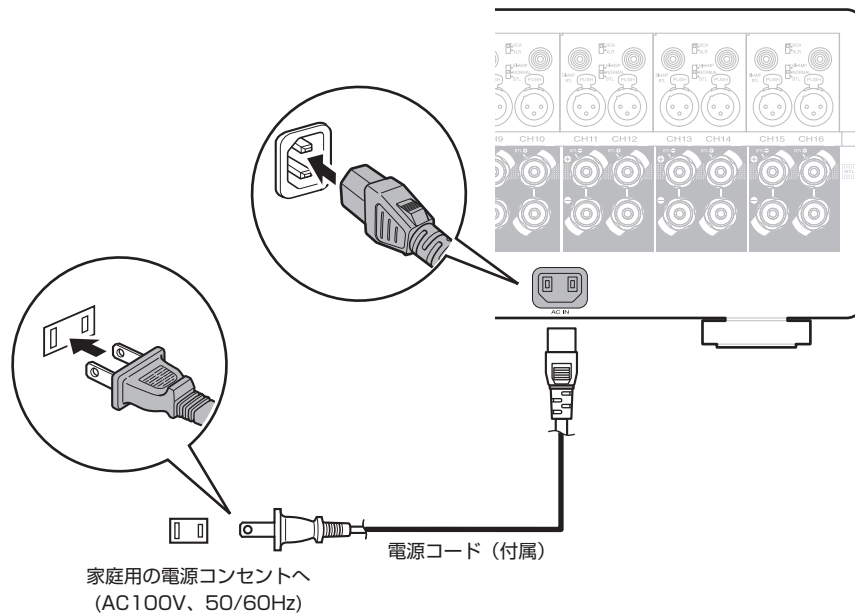
オートスタンバイ機能を使用する場合は、オートスタンバイ切り替えスイッチを“ON”にしてください。

お買い上げ時の設定は、“OFF”です。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



■ 目次

基本操作

電源を入れる 28

電源を入れる 28

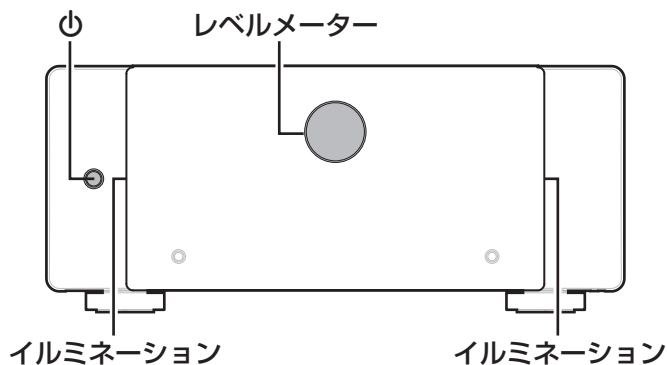
便利な機能

レベルメーターの表示をオフにする 29

イルミネーションの明るさを切り替える 30



基本操作



電源を入れる

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
レベルメーターとイルミネーションが点灯します。

ご注意

- 電源を入れるときは、接続している機器の音量を最小にしてください。

電源を入れる

- 1 電源ボタンを押す。
スタンバイ状態になります。

ご注意

- 電源をスタンバイにしても一部の回路は通電しています。長時間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、思わぬ事故を防ぐため、電源プラグはいつでも抜き差しできる位置に設置してください。



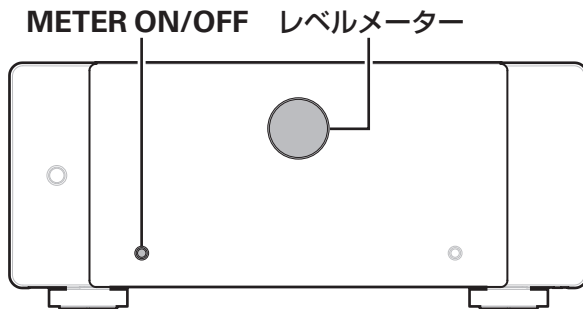
- AMP CONTROL 端子を搭載した、マランツ製プリアンプ AV 10 と付属のケーブルで接続することで、電源オン/オフなどを連動して使用することができます。(P.20 ページ)



レベルメーターの表示をオン/オフする

本機の電源をオンにすると、バックライトが点灯し、チャンネル 1 の信号入力に応じたレベルが表示されます。就寝時など、暗くしたいときはメーター表示をオフにすることができます。

お買い上げ時の設定は、“オン”です。

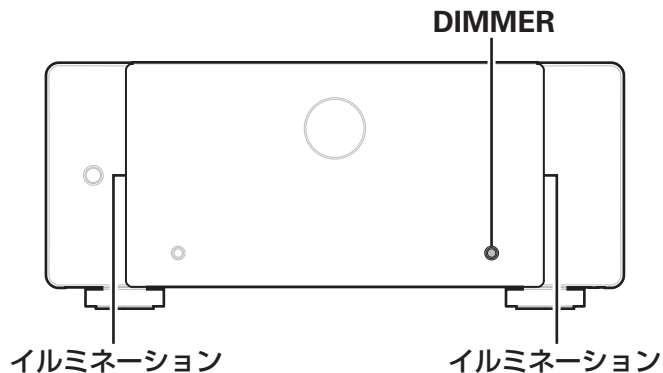


- 1 **METER ON/OFF を押す。**
レベルメーター表示のオン/オフを切り替えます。

イルミネーションの明るさを切り替える

イルミネーションの明るさを 4 段階で調節できます。イルミネーションをオフにすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

お買い上げ時の明るさは、最も明るい設定です。



1 DIMMER を押す。

- イルミネーションの明るさを切り替えます。

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.26 ページ)

電源が自動的に切れる。

- オートスタンバイ機能の設定が“ON”です。操作または信号が入力されない状態が 15 分間続くと、本機はスタンバイ状態になります。オートスタンバイ機能をオフにする場合は、オートスタンバイ切り替えスイッチを OFF にしてください。(P.25 ページ)

電源を入れてもすぐに切れる。

- 保護回路が動作しています。一度電源プラグをコンセントから抜き、1 分以上経ってから電源プラグを差し込んでください。(P.36 ページ)

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 4 回橙色点滅している。

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。(P.36 ページ)
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。
- 本機が対応しているインピーダンスのスピーカーを使用してください。(P.12 ページ)
- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.12 ページ)
- 本機に接続しているアンプの音量を下げ、電源プラグを差し直してください。

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 5 回橙色点滅している

- 保護回路がはたらいています。一度電源プラグをコンセントから抜き、本機の設置条件を見直し、スピーカーケーブルの接続を確認してください。再度電源を入れても同様の状態になる場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



音がまったく出ない

スピーカーから音が出ない。

- スピーカーやすべての機器の接続を確認してください。(P.16 ページ)
- 機器を接続した端子(BALANCED または UNBALANCED)に合わせて入力切り替えスイッチを切り替えてください。(P.16 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(P.12 ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締め付けがゆるんでいないか確認してください。(P.12 ページ)



保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。



■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



用語の解説

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。

この値が小さいほど大きな電力が得られますが、アンプにかかる負荷は増えます。

本機が対応しているインピーダンスのスピーカーを使用してください。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。



使用上のご注意

■ 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

■ お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

■ 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。



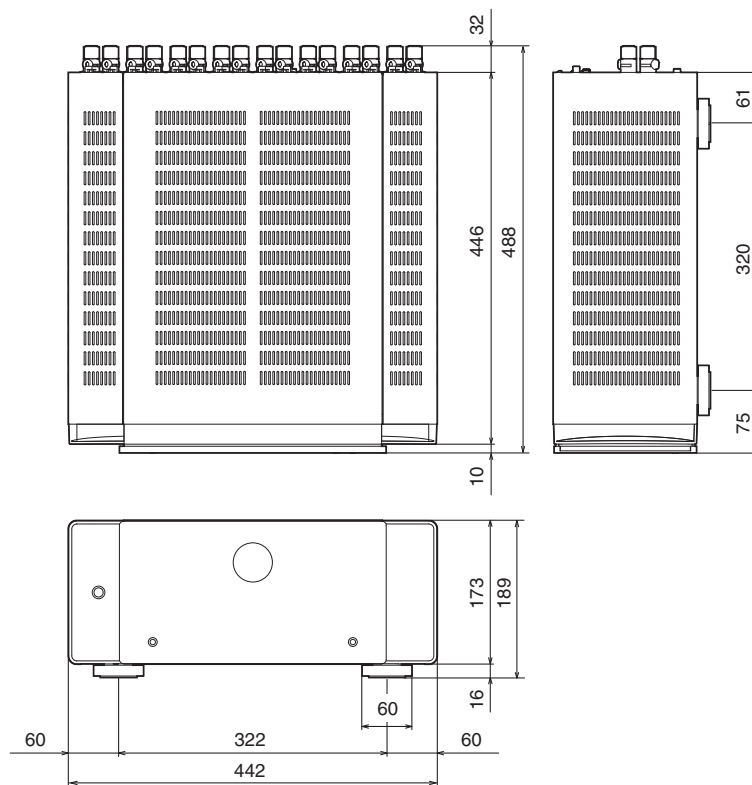
仕様

定格出力:	NORMAL、バイアンプ 200W x 2(負荷 8Ω、1kHz、T.H.D. 0.05 %) 400W x 2(負荷 4Ω、1kHz、T.H.D. 0.7 %) BTL 400W x 2(負荷 8Ω、1kHz、T.H.D. 0.05 %)
出力端子:	4 - 16Ω (NORMAL、バイアンプ) 8 - 16Ω (BTL)
周波数特性(1W、8Ω):	5Hz~70 kHz ±3dB
入力感度/インピーダンス:	1.4V / 47kΩ/kohms (UNBALANCED) 2.8V / 100kΩ/kohms (BALANCED)
S/N 比 (IHF-A)	110dB
電圧増幅度	29dB
動作温度:	5° C~35° C
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	500W
スタンバイ時の消費電力:	0.2W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



■ 寸法(単位:mm)



■ 重量: 19.8 kg

索引

英数字

15.2 チャンネル	15
17.4 チャンネル	15
7.1 チャンネル	15

A

AMP CONTROL	20
-------------------	----

B

BTL	19
-----------	----

い

イルミネーション	30
----------------	----

お

オートスタンバイ	25
----------------	----

こ

故障かな?と思ったら	31
------------------	----

そ

ゾーン2/ゾーン3の接続	15
--------------------	----

は

バイアンプ	18
-------------	----

ふ

フロントパネル	6
---------------	---

ほ

保護回路について	36
----------------	----

り

リアパネル	8
-------------	---

れ

レベルメーター	29
---------------	----



marantz®

3520 10847 00AM
©2022 Sound United. All Rights Reserved.